

栃木県立宇都宮高等学校天文部の活動方針及び年間活動計画等

目標	○部活動の実施にあたっては、生徒の安全を第一に考えて実施し、生徒が安心安全に部活動に参加できるように部活動運営を行う。 ○地学オリンピックに参加する等、余暇を有効活用をし、自己の研鑽に努める。 ○活動をとおして、充実した学校生活を送ろうとする主体的な態度を養うとともに、生徒の協調性、自己肯定感、責任感の育成を目指す。	
活動方針	○天体観測を通して、自然の奥深さとや自然と向き合う心を育成する。 ○学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○新型コロナウイルス対策として、観測会は屋上にて実施し、アイピース（接眼レンズ）はアルコールで消毒をしながら使用する。	
休養日	○原則として、毎週土曜日・日曜日を休養日とする。 ○長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。	
活動時間	○天体現象や天候によるため活動時間は特に定まっていないが、不定期に1時間程度。 ○定期考査初日の1週間前から考査試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。	
月	参加予定大会等	その他
4月	○22日 しし座η星の食 観測会	4月～3月まで天体行事があれば随時招集、観測を行う。活動については随時活動会議で決定していく。
5月	○26日 各自で月食の観測 ○29日 金星と水星の接近観測	
6月	○望遠鏡の取り扱い、機器のメンテナンス	
7月	○望遠鏡の取り扱い、機器のメンテナンス	
8月	○ペルセウス座流星群などを各自観測	この辺りまでに1,2年生のみで計画立案できるようにする。
9月	○宇高祭にて校内展示（内容未定） ○望遠鏡の取り扱い、機器のメンテナンス	宇高祭終了後、3年生引退
10月	○望遠鏡の取り扱い、機器のメンテナンス	
11月	○望遠鏡の取り扱い、機器のメンテナンス	
12月	○望遠鏡の取り扱い、機器のメンテナンス	
1月	○望遠鏡の取り扱い、機器のメンテナンス	
2月	○望遠鏡の取り扱い、機器のメンテナンス	
3月	○望遠鏡の取り扱い、機器のメンテナンス	